

2018年度

上期決算説明会資料

2018年11月15日



注意事項

本資料には過去の事実以外に今後の業績見通し等の計画・戦略が含まれますが、本資料は金融商品取引法の開示情報ではありません。

これらの見通しは過去の事実ではなく、現時点で当社が把握できる情報で判断した想定及び所見で作成した見通しです。

特に電子回路基板業界では原材料価格の変化、多様な顧客市場動向、技術動向の変化、為替変化、税制・諸制度の変更、自然災害、国際紛争、その他、様々なリスク・不確実性があり、実際の実績は見通しと異なる場合がございます。

1

2018年度上期実績

2

2018年度通期見通し

3

メイコーのモノづくり戦略

2018年度上期 決算ハイライト

売上

1. 売上は、前年比16.1%増の617.6億円
 - ・ 車載向けは、前年比13.6%増加の267.3億円
 - ・ スマートフォン向けは、前年比30.7%増加の197.2億円
 - ・ 貫通6層板以上と、ビルドアップ基板が増加

利益

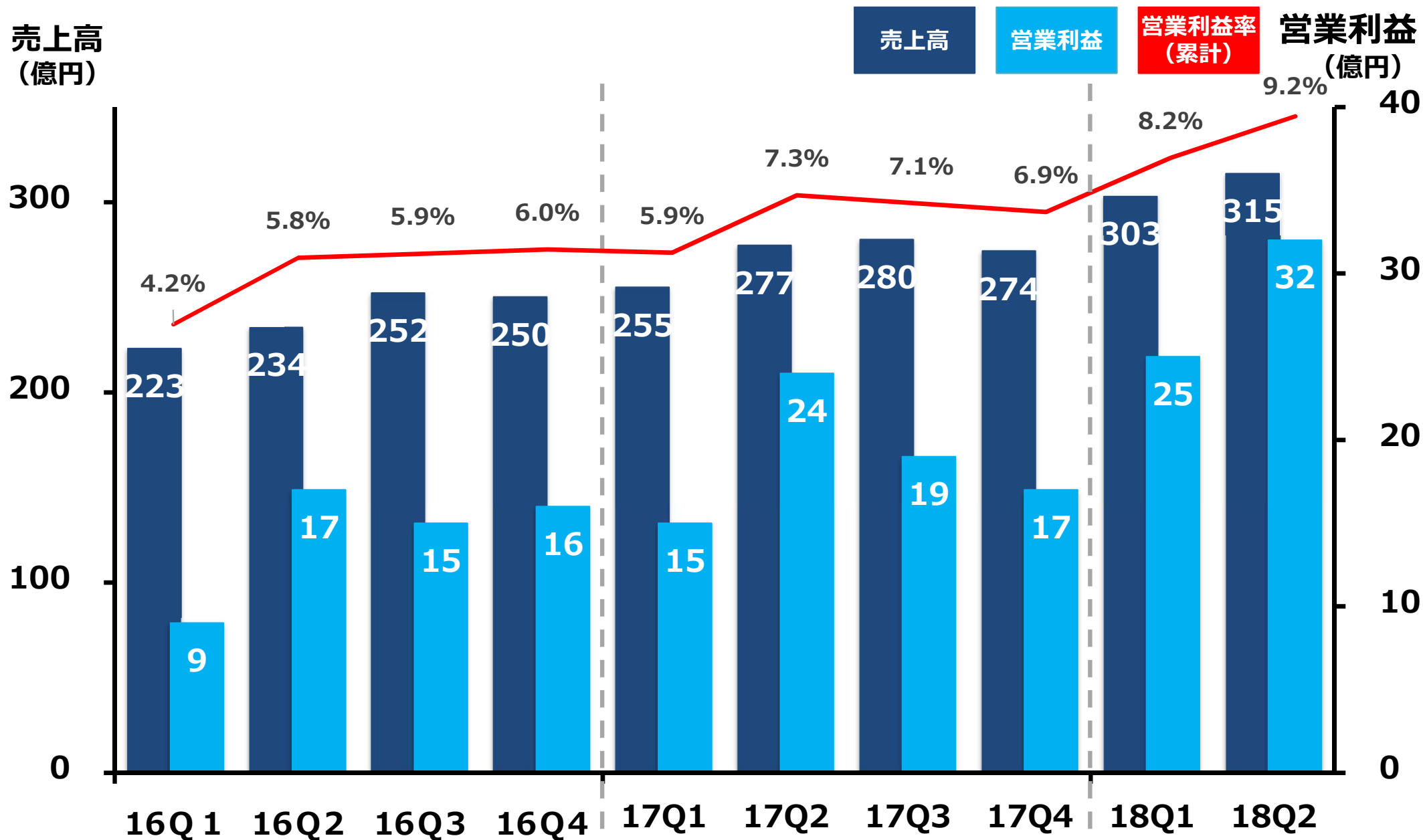
1. 営業利益は、前年比46.8%増加の56.7億円
2. 経常利益は、前年比125.1%増加の63.5億円
3. 純利益は、前年比149.1%増加の53.3億円

2018年度上期 連結実績

(単位：億円)

	2017年度 上期実績	2018年度 上期実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	532.1	617.6	85.5	16.1%
営業利益	38.6 7.3%	56.7 9.2%	18.1	46.8%
経常利益	28.2 5.3%	63.5 10.3%	35.3	125.1%
当期純利益	21.4 4.0%	53.3 8.6%	31.9	149.1%
期中平均為替レート (円 / USD)	111.26	110.64		

売上高と営業利益推移



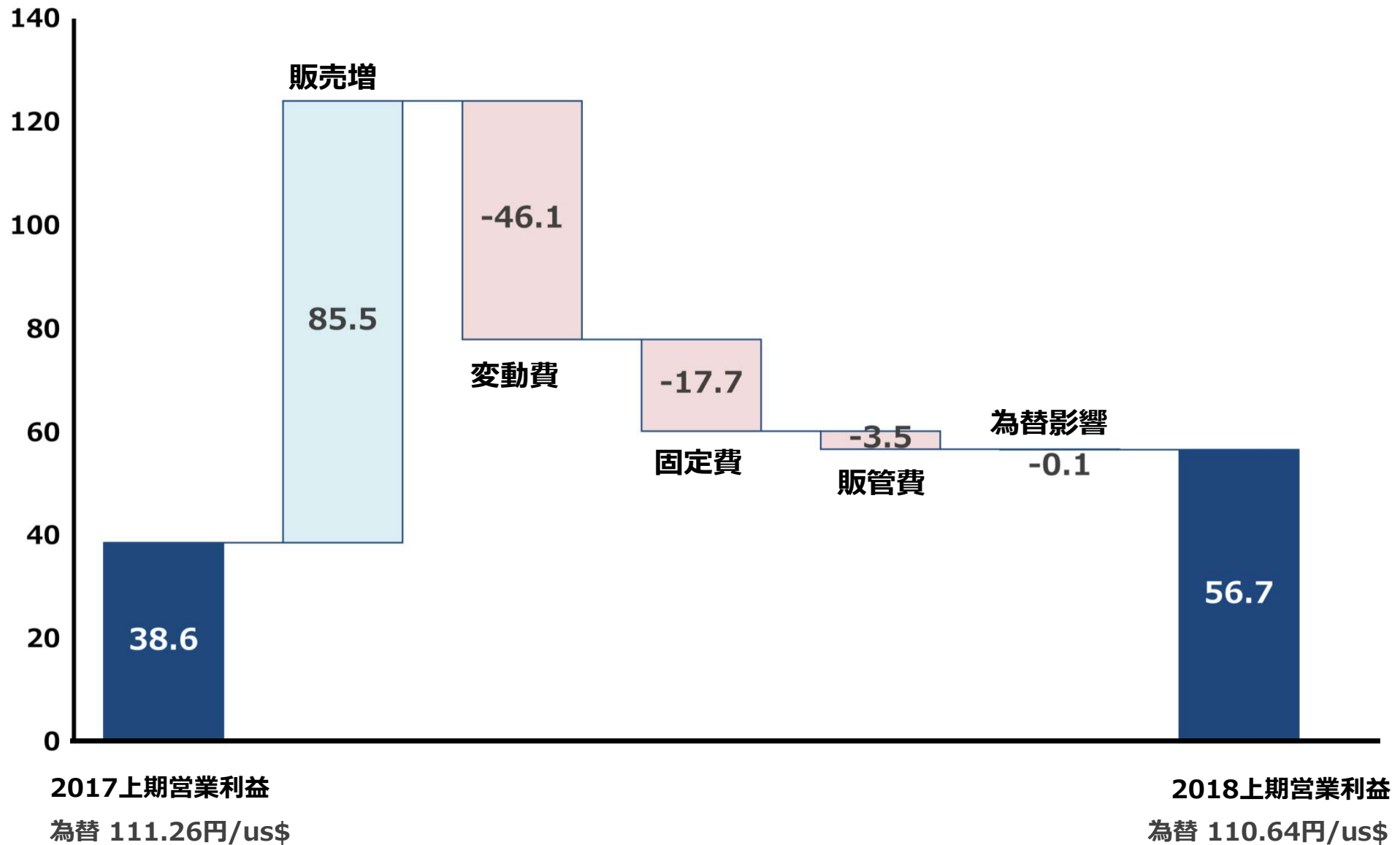
2018年度 上期製品別収益

(単位：億円)

	2017年度上期		2018年度上期		増減	
	売上	営業利益 営業利益率	売上	営業利益 営業利益率	売上 伸び率	営業利益 伸び率
車載	235.4	16.1 6.8%	267.3	19.1 7.1%	31.9 13.6%	3.0 18.6%
スマートフォン	153.7	15.7 10.2%	197.2	28.5 14.5%	43.5 28.3%	12.8 81.5%
その他	143.0	6.8 4.8%	153.1	9.1 5.9%	10.1 7.1%	2.3 33.8%
合計	532.1	38.6 7.3%	617.6	56.7 9.2%	85.5 16.1%	18.1 46.9%

營業利益增減分析 ~ 2017年度上期→2018年度上期

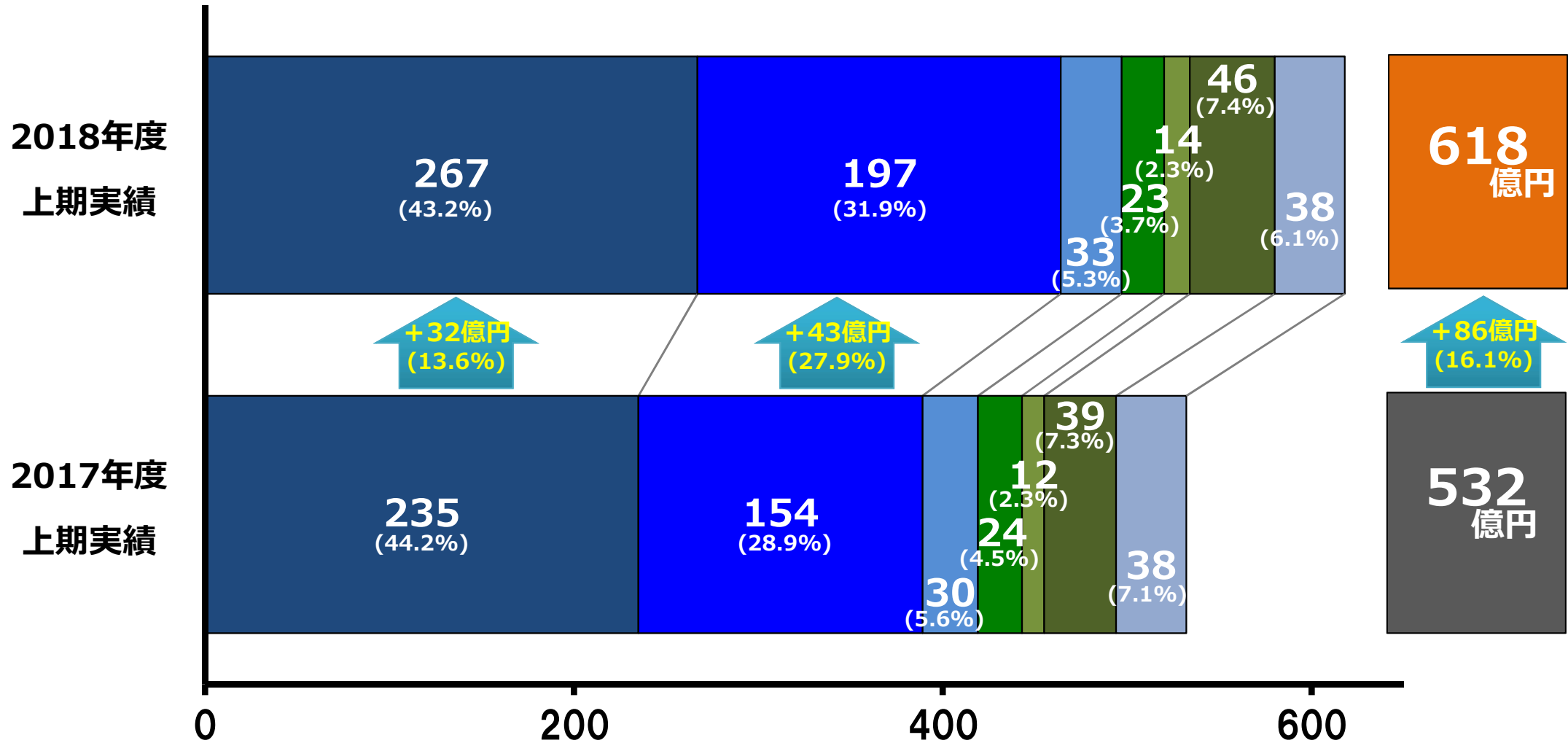
(單位：億円)



2018年度上期販売実績 ～ 基板用途別

(単位：億円)

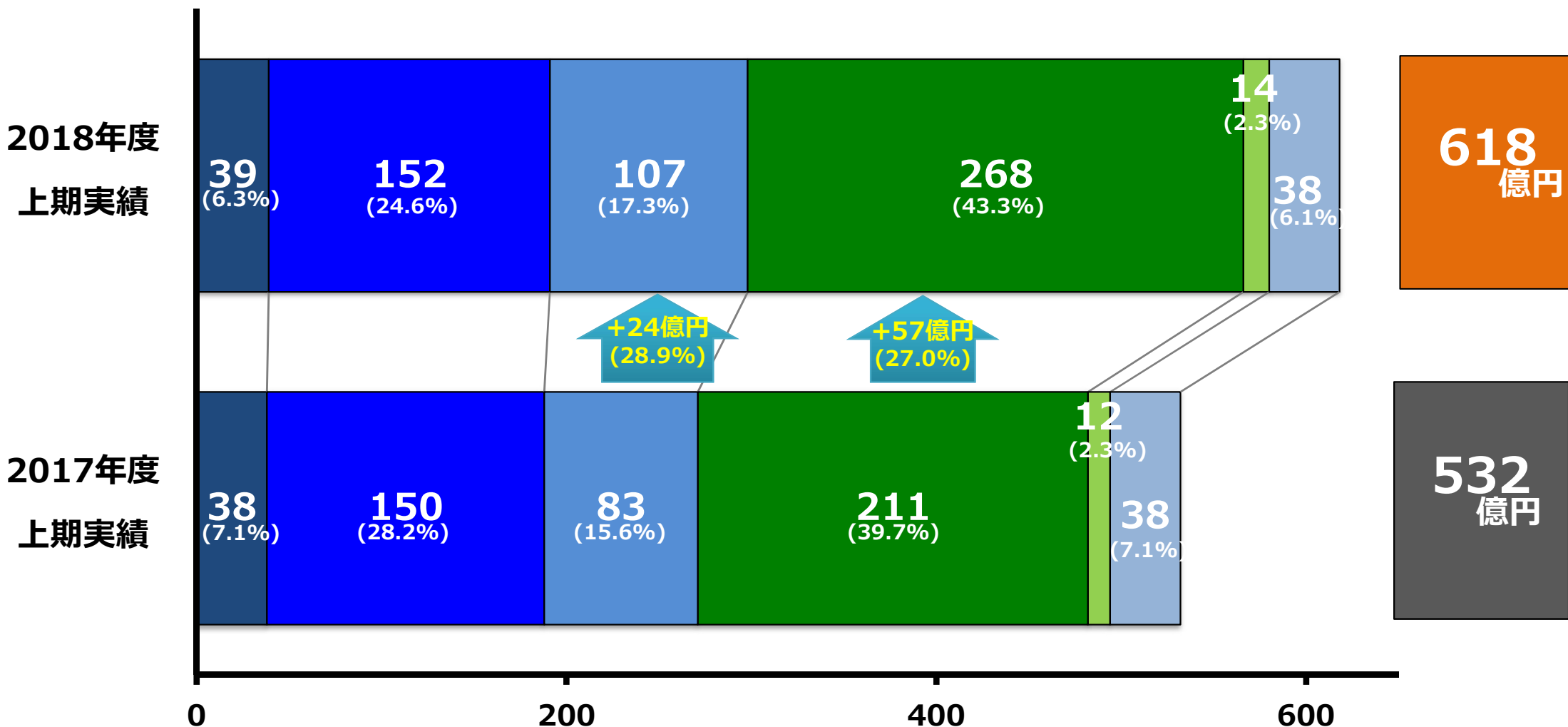
■ 車載 ■ スマートフォン ■ ストレージ ■ 事務機 ■ デジタル家電 ■ その他用途 ■ 基板以外



2018年度上期販売実績 ～ 基板仕様別

(単位：億円)

■ 両面板 ■ 4層板 ■ 6層板以上 ■ ビルドアップ ■ その他の基板 ■ 基板以外



1

2018年度上期実績

2

2018年度通期見通し

3

メイコーのモノづくり戦略

下期の展望

概要

- ・ 世界経済の減速影響により
車載、スマホともに弱含みの予測
- ・ 国内は先端技術製品の量産化と
自動化投資により利益率を高める

投資

- ・ 自動化／省人化の投資で固定費削減を加速する
- ・ ベトナム第3工場建設は計画通りに進行中
- ・ ベトナム第1工場の増設を実施

懸念事項

- ・ 米中貿易戦争

2018年度 通期見通し

(単位：億円)

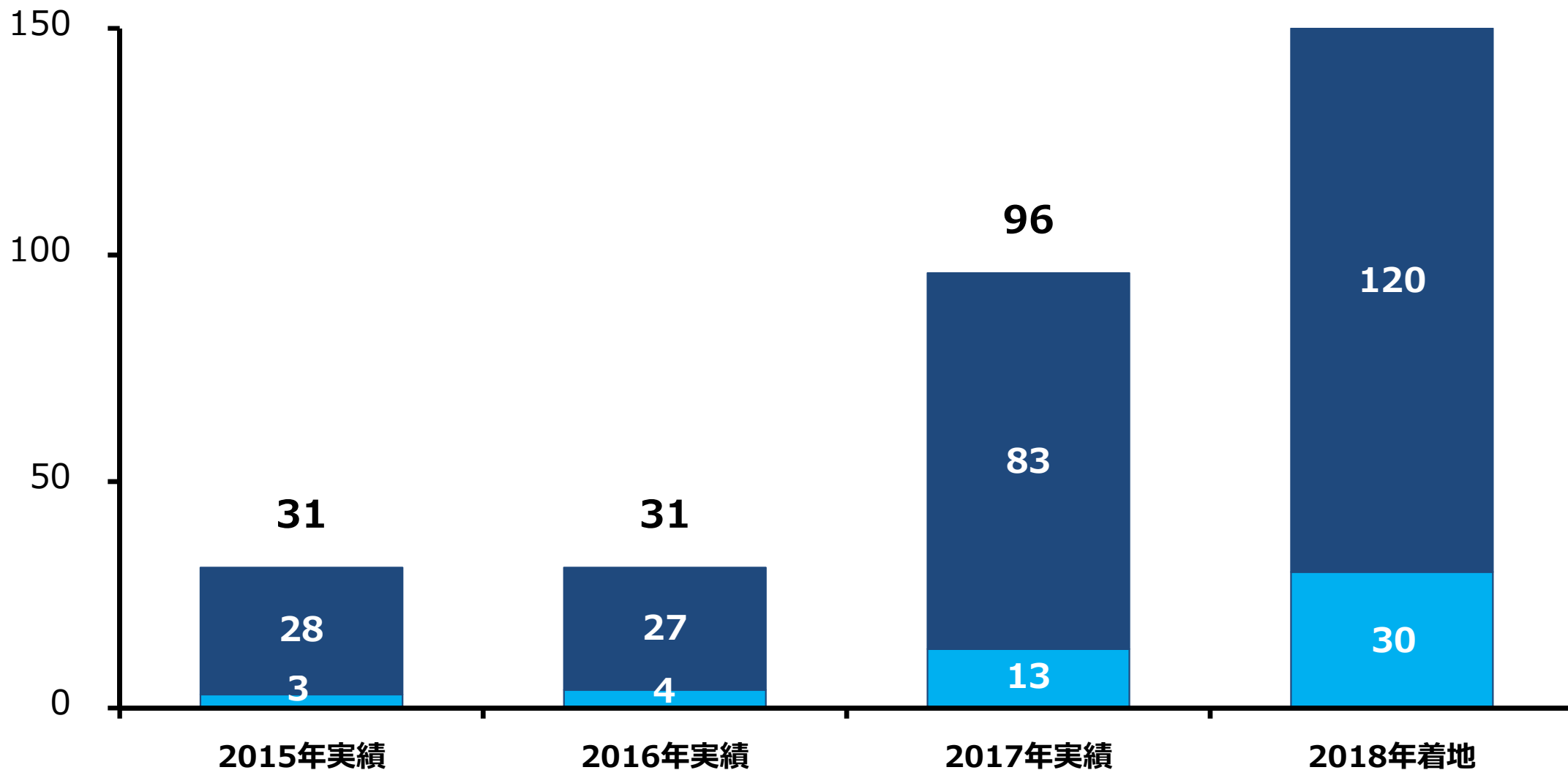
	2017年度 通期実績	2018年度		
		当初計画	修正計画	前年比 (増加率)
売上高	1,085.4	1,180	1,200	114.6 10.6%
営業利益	74.6 6.9%	82 6.9%	92 7.7%	17.4 23.3%
経常利益	48.0 4.4%	68 5.8%	90 7.5%	42.0 87.5%
当期純利益	43.7 4.0%	60 5.1%	73 6.1%	29.3 67.0%
期中平均為替レート (円/USD)	110.66	106.00	110.00	

2018年度 投資計画

※ 検収ベース

(単位：億円)

■ 国内投資 ■ 海外投資



償却額	2015年実績	2016年実績	2017年実績	2018年着地
	64	55	58	64

1

2018年度上期実績

2

2018年度通期見通し

3

メイコーのモノづくり戦略

競争力を上げるためのポイント

スマート ファクトリー

最先端のIoTやロボット技術を駆使し、社内システムと連動する事で全工場の生産性を更に向上させ事業拡大を図っていく

新商品の量産化

高密度（M-SAP）、高放熱、大電流など今後のお客様のニーズに合わせた新商品の開発スピードを上げ、早期に量産体制を整える

生産能力の増強

市場拡大が見込まれる車載基板を視野に、特にアセアン地区でのPCB,FPC,EMS生産能力の増強を図っていく

国内工場の強化

国内工場についても今後の先端技術製品の量産化や自動化/省人化の加速及び生産能力増強に積極的に取り組む

スマートファクトリーの実現

生産設備の自動化

ロボットによる自動化



工程のワンライン・インライン化



AI活用による判断の自動化



IoT活用による自動化・見える化

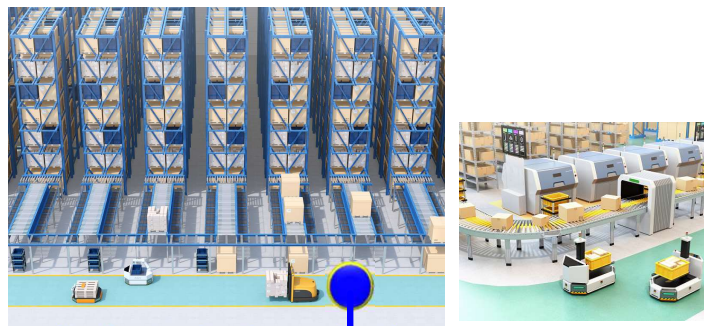


メカトロニクス



自動化・IoT化
で工場を支える

物流の自動化



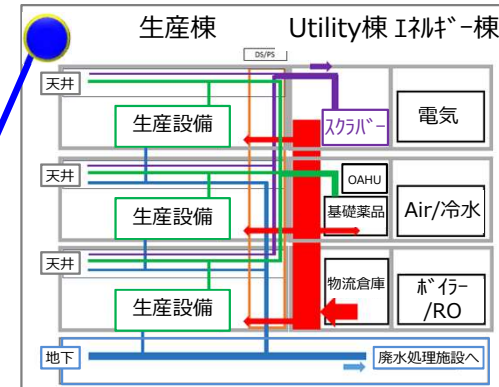
基幹システム連携

- ・生産管理
- ・購買管理
- ・品質管理

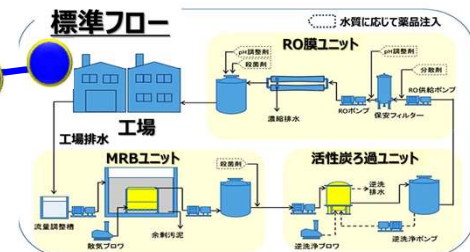
- ・最適投入計画 (LT短・仕掛小)
- ・最適購買計画 (在庫小)
- ・生産指示電子化 (ペーパーレス)
- ・品質記録電子化 (ペーパーレス) etc

環境対応

環境設備の最適化



廃水リサイクル/リユース



エネルギーモニター



新商品の量産化

市場ニーズとマッチングした技術製品の量産化をタイムリーに対応



生産能力の増強 ベトナム

車載

高周波

大電流

高放熱

スマートフォン

M-SAP



FPC及びEMS工場の拡張を実施し
生産能力を拡大する

第1工場の増設



第3工場建設



生産能力拡大計画

(単位：千㎡/月)

	2018年	2019年	2020年	2021年
車載貫通板	40	80	120	150
ビルドアップ	70	75	80	85
F P C	20	25	35	45

2019年7月量産スタート

生産能力の増強 国内

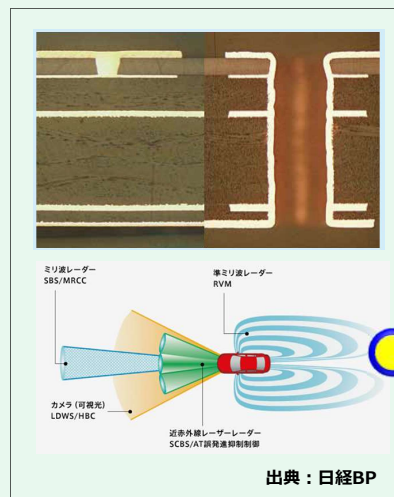
福島工場

国内市場向け増産
FA向け基板
IoT向け基板

山形工場
石巻工場

国内市場向け車載事業強化
ミリ波レーダー基板
放熱基板

福島第2工場



ミリ波レーダー基板



11月9日に福島第2工場の竣工式を執り行いました